

2018年2月6日

「交通安全危険予測シミュレーター」が山形県警に導入されました。

県庁でデモンストレーションが行われ、山形市内の老人クラブの会員などおよそ60人が、運転や道路の横断を疑似体験しました。

1台で「歩行者向け」と「運転者向け」を両方疑似体験できる装置が導入されるのは全国初のシステムで、今後、県内各地を巡回して、高齢者の交通安全に役立てることになります。



